

第一章 障害者理解をすすめるために…………… I

——福祉教育の意義と課題——

- 一 今、なぜ福祉教育なのか 1
- 二 障害者理解と福祉教育 9
  - 各教科について 10
  - 道徳について 12
  - 特別活動について 13
- 三 障害者理解教育と児童文学 15

第二章 「障害」をどう考えるか…………… 21

- 一 「障害」はどのようにとらえられているか 21
- 二 「知的障害」はどのようにとらえられているか 36
- 三 「障害を伝える」ということ 43

第三章 「社会」と「障害」をどう伝えるか…………… 55

第四章 障害の「原因」をどう伝えるか…………… 71

第五章 「困った行動」をどう伝えるか…………… 85

第六章 「願い」をどう伝えるか…………… 107

- 一 「みんなと同じ人間」という「願い」 107
- 二 「自立」への「願い」 115

第七章 児童文学を用いた授業例…………… 119

小学校低学年の実践

- 一 指導略案 119
- 二 結果 122
- 資料 「がんばれのんちゃん」 125

小学校高学年の実践

- 一 指導略案 130
  - 二 発問と板書 134
  - 三 児童の感想の特徴 136
- 資料 「桜組のマサオ君」 143

終章 二十一世紀を「福祉」の世紀に……………147

——これからの福祉教育と障害者理解教育の展望——

- 一 地域における福祉教育の充実 147
- 二 教育における「選抜」から「選択」の原理への転換を 151
- 三 「福祉の心・共に生きる心」と障害者理解教育 154

【付録】「知的障害」をテーマとした「児童文学」リスト……………159